

競技注意事項

1 競技規則について

本大会は、2016年度日本陸上競技連盟競技規則及び本大会の申し合わせ事項によって実施する。

2 招集について

- (1) 招集所は、第4コーナーゲート付近（競技場外）に設ける。（パロマ瑞穂北陸上競技場〔以後北陸上競技場とする〕の連絡通路より）
- (2) 種目別招集開始・完了時刻は、プログラムの競技日程に記載している。
- (3) 招集の方法については、次の通りである。
 - ①招集開始時刻に招集所で競技者係の点呼を受ける。その際、ナンバーカード・スパイクピン・商標の点検を受ける。トラック競技のみ腰ナンバー標識（2枚）を受け取る。
 - ②携帯電話等、競技規則144条3（b）に関わる機器を持ち込んでいないか確認を受ける。
 - ③代理人による最終点呼は認めない。2種目を同時に兼ねて出場する競技者は、あらかじめその旨を本人または代理人が、本競技場の北側出入り口外側テント（100mスタート地点付近の外側）に設けるTICに用意した「2種目同時出場届」に記入し1種目目の招集時に招集所へ提出する。
 - ④招集完了時刻に遅れた競技者は、出場できない。

3 ナンバーカードについて

- (1) ナンバーカードは、3枚配布する。（胸・背・手荷物用）（競技規則第143条7、8を厳守）
- (2) トラック競技に出場する競技者には、写真判定用の腰ナンバー標識（2枚）を招集時に配布する。
- (3) ナンバーカードとIDカード・プログラムの配布については、次の時間帯に、選手受付テントで行う。

・ 23日（木）	<u>10:00</u> ～17:00	・ 24日（金）	<u>10:00</u> ～18:30
・ 25日（土）	<u>10:00</u> ～19:00	・ 26日（日）	<u>10:00</u> ～15:00

4 競技場内への入退場について

- (1) 招集所から競技者係の誘導により競技場に入場する。
- (2) 競技終了後は、競技役員の指示に従いミックスゾーンとPECR（ホスト・イベント・コントロール・ルーム）を通り退場する。なお、決勝において1～3位の競技者を、表彰者控え所に誘導する。

5 競技の抽選及び番組編成について（レーン順・試技順）

- (1) トラック競技の予選のレーン順・フィールド競技の試技順は、デイリープログラムに記載した順（欠場者を除いた競技者により大会前日のプログラム編成で決定）による。決定されたレーン順・試技順は、前日17時までに番組編成掲示板（TIC横と正面スタンド中央階段を上がったところ）に掲示する。
- (2) トラック競技の準決勝以降の組み合わせ及びそのレーン順は、番組編成掲示板に掲示する。
- (3) タイムによる次のラウンドに進む出場者の決定について、最終枠に同記録がありレーン数が不足する時の処置は、写真判定主任が0.001秒単位の実時間を判定して出場者を決定する。それでも決定できない時は抽選とする。（競技規則第167条2）

6 競技について

- (1) トラック競技について
 - ①トラック競技の計時は、すべて写真判定装置を使用する。
 - ②レーンで行うトラック競技においては、欠場者のレーンは空ける。
 - ③短距離種目では、競技者の安全のため、フィニッシュライン通過後も自分に割り当てられたレーン（曲走路）を走る。
 - ④競技規則162条7により、不正スタートをした競技者は1回で失格とする。
 - ⑤スターターの合図は英語とする。「On your marks」「Set」
- (2) フィールド競技について
 - ①投てき競技の計測は、すべて光波距離計測器を使用する。
 - ②跳躍及びやり投の競技者は、助走路の外側（走高跳は助走路内）に主催者が準備したもの、または承認したマーカー

を2個まで使用することがきる。また、サークルで行う投てき競技は、マーカーを1つだけサークル外側に使用することができる。

- ③棒高跳の競技者は、「棒高跳支柱移動届」をTICで受け取り、自分の希望する支柱の位置を記入し、招集開始時に招集所に提出する。その後、位置を変更したい場合は担当審判員に申し出る。
 - ④三段跳の踏切板は、砂場から男子13m、女子11mの地点に設置する。
 - ⑤フィールド競技における競技場内での練習は、すべて競技役員の指示に従う。
 - ⑥フィールド競技が行われる近接のスタンドに「コーチ席」を設ける。
- (3) 競技者は、ビデオ装置・レコーダー・ラジオ・CD・トランシーバーや携帯電話もしくは類似の機器を競技場内で所持または使用すること、勝手に競技場所を離れることはできない(競技規則第144条3(b)・4)。競技場内に持ち込まれるバッグの中身は招集所で確認される。
- (4) 上記を含む不当な行為をした競技者には警告が与えられ、場合によっては当該競技から除外される。警告は黄色カード、除外は赤色(スタートについては赤黒色)カードを示すことによって競技者に知らされる。
- (5) 欠場する者は、本選手権大会規定の「欠場届」(TICにも用意)に必要な事項を記入し、次の要領で届けること。届けずに欠場した者は、本連盟、加入団体主催または後援する競技会に出場を認めない処置を講ずることがある。
- ①大会第1日目【6月24日(金)】に出場種目がある競技者が欠場する場合は、6月22日(水)9時~15時までに、下記の届け先までFAXで届け出る。FAX送信後、必ず電話で確認すること。
 - ②大会第2日目【6月25日(土)】に出場種目がある競技者が欠場する場合は、6月24日(金)9時~12時(正午)までに、下記の届け先までFAXで届け出る。FAX送信後、必ず電話で確認すること。
 - ③大会第3日目【6月26日(日)】に出場種目がある競技者が欠場する場合は、6月25日(土)9時~12時(正午)までに、下記の届け先までFAXで届け出る。FAX送信後、必ず電話で確認すること。
- 《届け出先：3日間とも》 パロマ瑞穂スタジアム
 ※電話 052-836-8200、FAX 052-836-8026
- ④大会第2日目(6月24日)、大会第3日目(6月25日)の欠場届は、上記の日付と時間帯にTICでも受け付ける。

7 走高跳・棒高跳のバーの上げ方について

- (1) 走高跳・棒高跳のバーの上げ方は、最後の一人になり優勝が決定するまでは次の通りとする(ただし、天候等の状況により変更することもある)。

種目	種別	練習	1	2	3	4	5	6	7	8	以降
走高跳	男子	2m00 2m10	2m05	2m10	2m15	2m20	2m25	2m29	2m31	2m33	2cm
	女子	1m60 1m70	1m65	1m70	1m75	1m78	1m81	1m84	1m87	1m90	3cm
種目	種別	練習	1	2	3	4	5	6	7	以降	
棒高跳	男子	任意の高さ	5m00	5m20	5m30	5m40	5m50	5m60	5m70	5cm	
	女子	任意の高さ	3m60	3m70	3m80	3m90	4m00	4m10	4m15		

(2) 棒高跳の公式練習について

- ①棒高跳に出場する競技者は、招集完了時刻(競技開始90分前)以前には競技場所に入場できない。
- ②公式練習はゴムバーで行う。
- ③任意の高さ及び棒高跳支柱の位置で試技順に2回行う。

8 競技用具について

棒高跳用ポール以外、競技に使用する用具は主催者が用意したものを使用しなければならない。ただし、投てき用具リストにはない、もしくは1つしかない品番のものは持ち込みを認めるので、希望者は各招集完了2時間前から1時間前までに、持ち込む投てき用具とともに「投てき用具検査申請書」をTICに持参し、指示を受ける。受け付けた「投てき用具」については、「預かり証」を発行する。検査に合格した「投てき用具」については、一括借り上げし参加競技者間で共有できるものとし、競技終了後にTICで「預かり証」を確認のうえ返却する。

9 競技用靴について（競技規則第143条2・3・4・5・6参照）

スパイクピンの長さは、9mm以内、走高跳・やり投は12mm以内とする。いずれの場合もスパイクピンの数は、11本以内とする。

10 結果発表と抗議について

- (1) 各種目の結果発表は大型映像およびアナウンスで行う。
- (2) 発表された結果に対する抗議は、競技規則第146条に定められている時間内（同一日に次のラウンドが行われる場合にはアナウンス後15分以内、それ以外は30分以内）に、競技者自身または代理人が、TICを通じて審判長に対して口頭で行い、控室で待機する。さらに、この裁定に納得できない場合は預託金（1万円）を添え、TICを通じてジュリーに文書で申し出る。

11 表彰について

- (1) 各種目の1位から3位の競技者の表彰は、正面スタンド前表彰台で行う。
- (2) 各種目の1位の競技者には、カップと賞状とメダルを、2位・3位の競技者には賞状とメダルを授与する。4位から8位の競技者には賞状を授与する。
- (3) 4位から8位までに入賞した競技者には、その種目のアナウンスによる正式結果発表後30分を経過してからPECRで賞状を渡す。
- (4) 最優秀選手男女各1名を表彰する。

12 ドーピングコントロールテストについて

(1) ドーピングコントロール

国際陸上競技連盟アンチ・ドーピング規則および規定、もしくは日本アンチ・ドーピング規程に基づいて行われる。

尚、本大会の前もしくは後のドーピング検査では、尿又は血液（或いは両方）の採取が行われる。該当者は指示に従って検査を受けること。

競技会時、ドーピング検査の対象となった場合、顔写真付きの身分証明書が必要となる。顔写真のついた学生証、社員証、運転免許証、顔写真が鮮明なパスポートコピーなどを持参すること。

(2) TUE申請

禁止表国際基準で定められる禁止物質・禁止方法を病気の治療目的で使わざるを得ない競技者は“治療使用特例(TUE)”の申請を行わなければならない。

詳細については、日本陸上競技連盟医事委員会のホームページ(<http://www.jaaf.or.jp/medical/index.html>)、又は日本アンチ・ドーピング機構ホームページ(<http://www.playtruejapan.org/>)を確認すること。

(3) 未成年競技者親権者からのドーピング検査に対する同意書の取得

2015年1月1日より、世界アンチ・ドーピング規程、国際基準、及び日本アンチ・ドーピング規程が改定され、未成年(20歳未満)競技者が競技会に参加する際、親権者からドーピング検査に関する同意書を取得する事が必要となる。

- ①本大会に参加する未成年者は、同意書を熟読し、署名、捺印の上、同意書の原本を大会に持参し、携帯すること。同意書は<http://www.jaaf.or.jp/pdf/doisho.pdf>からダウンロードできる。
- ②未成年競技者はドーピング検査に指名された時に、原本をドーピング検査室にてNFR(陸連医事代表)に提出すること。提出は未成年時に1回のみで、同意書の提出後に再びドーピング検査に指名された場合は、すでに原本を提出済みである事をNFRに申し出ること。会場において、原本の提出がなくとも、検査は行われるが、検査後7日以内に日本陸連事務局に原本を提出すること。

13 一般注意事項

- (1) 競技場内で着用するウェアや持ち込むバッグ等に表示されている商標は、「競技会における広告及び展示物に関する規程」に示すサイズを超えてはならない。これに違反したものについては主催者で処置する。
- (2) 応急処置、その他健康上の問題が生じた場合は医務室に連絡する。
- (3) 競技場での疾病・傷害等の応急処置は主催者が行うが、以後の責任は負わない。
- (4) 更衣室は北陸上競技場1階を利用する。更衣室は更衣のみに使用し、荷物は各自で管理する。
- (5) 大会期間中の貴重品の保管は各自で行う。盗難にあってもその責任は負わない。
- (6) 届けられた遺失物についてはTICで保管する。保管期間は、6月26日(日)競技会終了までとする。それ以降は

パロマ瑞穂スタジアムに連絡する。(電話052-836-8200)

- (7) 記録はその都度発表するが、TIC横と正面スタンド中央階段を上がったところに設置する記録掲示板に印刷物で掲示する。
- (8) 「記録証明書」を希望する競技者は、TICに500円を添えて申し込むこと。
- (9) スタンドを含む競技場内での応援用のぼり・旗等の固定は禁止する。
- (10) 送付された棒高跳用ポールの受け渡しは、TICで指示する。また、棒高跳用ポールの返送(有料)は、競技終了後、TICに申し出ること。
- (11) 競技者及びコーチには、受付時に大会主催者申し合わせ事項によりIDカードが渡される。コーチIDカードについては、参加者1名は1枚、2名から3名は2枚、4名から5名は3枚、6名以上は4枚とする。IDカードで行動できる範囲は、北陸上競技場・観客席とするが、競技者は出場時のみ競技場内に入ることができる。IDカード使用者は、場内を移動する場合は必ずIDカードが確認できるように携帯する。
- (12) 提出書類は次の通りとする。(用紙はTICに用意)

提出するもの		提出場所	提出時刻
①	欠場届	TIC	招集完了時刻まで
②	2種目同時出場届	招集所	1種目目の招集時
③	投てき用具検査申請書	TIC	招集完了1時間前まで
④	棒高跳支柱移動申告用紙	招集所	招集時
⑤	上訴申立書(預託金1万円)	TIC	競技規則第146条7による
⑥	記録証明書	TIC	TIC閉鎖時刻まで

14 練習会場の使用について(練習会場注意事項)

- (1) 練習は、各個人が指定された場所・時間で行い、事故防止には万全を期す。なお、練習中に発生した疾病・傷害等については、応急処置は主催者において行うが、以後の責任は負わない。
- (2) 練習に必要な用器具は、主催者が準備するが、持参した個人の用具も使用できる。
- (3) 荷物などは、個人が責任を持ち管理する。
- (4) 会場内への入退場は、必ずIDカードを明示する。また、コーチは会場において、常にIDカードが確認できるように携帯する。
- (5) 北陸上競技場での練習は、次の通りとする。
- ①競走路の使用は、原則として以下の通りとする。なお、逆走は禁止する。
- ・1~2レーン：中・長距離 車いす(1500m) 25日(土) 26日(日)
 - ・3~6レーン：短距離(スタートダッシュはホームストレートスタート地点200mスタート地点)
※第1曲走路からバックストレート及び第2曲走路にかけての7~8レーンは除く。
 - ・7~8レーン(第1曲走路からバックストレート及び第2曲走路)：400mハードル
 - ・7~8レーン(ホームストレート)：100mハードル・110mハードル
- ②跳躍種目・投てき種目は練習会場使用日程通り、それぞれの種目の練習を行うことができる。記載された時間以外は認めない。担当競技役員の指示のもと、安全に十分留意して行うこと。
- (6) 練習会場使用日程は次の通りとする。

		6月23日(木)	6月24日(金)	6月25日(土)	6月26日(日)
本競技場	走高跳	13:00-15:00 (女子) 15:00-17:00 (男子)	×	×	×
	棒高跳	13:00-17:00 (男子)	×	×	×
	円盤投	11:00-13:00	×	×	×
	やり投	13:00-17:00	×	×	×

北陸上競技場	トラック 走高跳・走幅跳 三段跳	10:00-17:00	10:00-21:00	10:00-21:00 19:00-21:00 (車いす)	10:00-18:30 10:00-12:00 (車いす)
	棒高跳	14:00-17:00 (女子)	13:00-16:00 (男子) 16:00-18:00 (女子)	12:00-15:30 (女子)	×
	砲丸投	11:00-17:00	12:00-17:00	11:00-13:30 (女子) 14:00-16:00 (男子)	10:00-12:20 (男子)
	やり投	×	13:15-14:45	10:30-12:30 (女子) 14:30-16:40 (男子)	×
	円盤投	×	17:00-18:30	12:45-14:15 17:00-18:30	10:00-12:00 (女子) 12:30-15:00 (男子)
	ハンマー投	12:00-17:00	10:30-13:00 (女子) 15:00-16:40 (男子)	×	×

※スタート練習について

- ・スタート練習補助を、23日(木)北陸上競技場で愛知陸協競技役員スターターが下記の時間帯で行う。

○12:00から13:00 ○15:00から16:00